

不動産・住宅ビジネスの

新潮流と

マーケット動向

第 97 回
不動産
経営者講座

10月6日(月) [第1日]

《基調講演》日本経済の今後と不動産・資産市場の行方

＜不動産ビジネスの新潮流Ⅰ ストック活用＞

- リバースモーゲージ普及に向けての今後の課題
- 賃貸住宅ストック過剰時代の戦略
- 進化するリノベーションビジネス
- 総合力でストックビジネス新時代へ

10月7日(火) [第2日]

＜不動産ビジネスの新潮流Ⅱ 新市場創造＞

- ヘルスケアアセット市場の成長性とリートが担う役割と課題
- アジアにおけるネットワーク拡大と海外投資家の動向
- コーポラティブハウス、その先の事業展開
- サービスオフィス需要の動向と日本展開戦略

日時 2014年10月6日 月 7日 火 [10時00分～16時35分]

会場 全社協・灘尾ホール (新霞が関ビル ロビー階) 東京都千代田区霞が関 3-3-2

主催 株式会社 不動産経済研究所

不動産・住宅ビジネスの 新潮流とマーケット動向

●プログラム

第1日 10月6日(月)

10:00 ~ 10:55

基調講演

日本経済の今後と不動産・資産市場の行方

みずほ総合研究所 常務執行役員 高田 創 氏

11:00 ~ 12:00

歴史は繰り返すのか～労働者不足・建築費の見通し

三菱UFJモルガン・スタンレー証券 主席アナリスト 水谷 敏也 氏

----- 休憩 -----

<不動産ビジネスの新潮流Ⅰ ストック活用>

13:00 ~ 13:50

リバースモーゲージ普及に向けての今後の課題

野村資本市場研究所 主任研究員 小島 俊郎 氏

13:55 ~ 14:45

賃貸住宅ストック過剰時代の戦略

エイブル 社長 梁瀬 泰孝 氏

14:50 ~ 15:40

進化するリノベーションビジネス

インテリックス 社長 山本 卓也 氏

15:45 ~ 16:35

総合力でストックビジネス新時代へ

野村不動産パートナーズ 社長 関 敏昭 氏

ご挨拶

アベノミクス効果で活況だった昨年の反動と4月の消費税率アップにより、分譲マンションの供給減と注文住宅の受注減が続いていますが、賃貸オフィスビル市場は空室率の低下、賃料の底打ち・反転と回復してきました。不動産投資市場は、国内外の投資家の旺盛な投資意欲によって取引が活発化し、取引価格が上昇しています。2020年の東京五輪開催を控え、日本の不動産市場は今後も注目度が増していくものと思われます。

「第97回不動産経営者講座」では、「不動産・住宅ビジネスの新潮流とマーケット動向」というテーマで、2日間にわたって多彩な講座を用意し、今後の不動産・住宅市場の動向やビジネスチャンスなどを探ります。

皆様のご聴講をお誘い申し上げます。

株式会社不動産経済研究所

第2日 10月7日(火)

《トップ講演・市場動向と経営戦略》

10:00 ~ 11:00

顧客ニーズの変化に対応した事業戦略

東京建物不動産販売 社長 種橋 牧夫 氏

11:05 ~ 12:00

オフィス市場の見通しとオフィスリーの成長戦略

ジャパンリアルエステイトアセットマネジメント 社長 片山 浩 氏

----- 休憩 -----

<不動産ビジネスの新潮流Ⅱ 新市場創造>

13:00 ~ 13:50

ヘルスケアアセット市場の成長性とリートが担う役割と課題

ジャパン・シニアリビング・パートナーズ 社長 藤村 隆 氏

13:55 ~ 14:45

アジアにおけるネットワーク拡大と海外投資家の動向

東急リバブル ソリューション事業本部営業統括部海外営業部長 森 茂雄 氏

14:50 ~ 15:40

コーポラティブハウス、その先の事業展開

コプラス 社長 青木 直之 氏

15:45 ~ 16:35

サービスオフィス需要の動向と日本展開戦略

日本リージャス 代表取締役リージョナル・バイス・プレジデント 西岡 真吾 氏